

岸野小学校だより

NO. 6 平成 28 年 9 月 21 日 岸野小学校



岸野小学校第 114 回運動会 ～発揮した「わか竹魂」～

17 日（土）、たくさんの保護者の皆様、そして地域の皆様にお越しいただき岸野小学校第 114 回運動会を行うことができました。皆様からの多くのご声援やご協力、本当にありがとうございました。



今年の運動会スローガンは「岸野 Go！！わか竹魂で走り抜け」でした。そのスローガンに向かってみんながたくさんの「わか竹魂」を発揮しました。

まず一つは応援。自分のチームを精一杯の声で応援するだけでなく、相手チームにエールや拍手を惜しみなく送り、また、その相手の態度に敬意を感じる姿がありました。

～前略～ 総得点も 10 点差をつけ赤が勝った。でも、白はだれも文句を言わなかった。だから、拍手は白に送るべきだと思った。勝った組も負けた組も一人ひとりが輝き、目立つことができた。～後略～
(鳳さんの感想文から)

次はダンス。機械の調子が悪く、ところどころで音が飛んでしまいました。子どもたちは調子が狂ったり、動



揺したりしたはずですが、演技中にそんな様子を見せることなく、演技することができました。

また、男子騎馬戦の一騎打ちでは、赤組の大將が戦う前に勝負が決してしまう結果になりました。勝負ができなかった大將の海里さんに気持ちを聞くと「悔しかった。でも、その分りレーで頑張ろうと思った。」とのことでした。今でもその悔しさは消えていないそうです。そしてその悔しさを心に残したまま日常生活を送っています。自分の思い通りにならないとき（満足した結果が得られないとき）、前向きに気持ちをコントロールすることも「わか竹魂」です。



もう一つは組体操です。組体操は自分ができない技に対してまっすぐに努力すること、友を思い、協力して支え合うこと、そして苦しさや怖さをたくましく乗り越えることなど、まさに「わか竹魂」の見せ場です。そんな姿がたくさんありました。

会場から大きな拍手が鳴った。私は「やった！やりきったぞ。」と思った。練習で先生から「一番の大技は立ち姿だ」と教えてもらった。私は本番も指先まで油断なく伸ばせた。～後略～
(寧々歌さんの感想文から)